

介護医療連携推進会議録

概要

2026年3月11日に開催された第2回介護医療連携会議では、スマイルテラス清武が運営する定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の現状報告、課題、今後の展望について関係者が情報共有を行いました。主な議題は、利用状況、職員体制、医療連携、事故発生状況、今後の対策、不審者対応、服薬管理など多岐にわたりました。

出席者

- ・ スマイル管理者：入中
- ・ スマイルテラス清武：清武（施設長）
- ・ 利用者家族代表：大迫氏
- ・ 居宅介護支援事業所 学園台クリニック：大寺氏
- ・ 地域包括支援センター：菅原氏（社会福祉士）
- ・ セラピス調剤薬局：後藤氏（薬剤師）
- ・ マナビヤ在宅クリニック：中野氏（看護師）
- ・ 地域住民代表：渡辺氏（議事録参加）

利用状況と利用者の傾向

- ・ 現時点（2026年3月）では、利用者＝入居者となっており、外部へのサービス提供は経験豊富なスタッフの人選を慎重に行いながら準備段階にあります。
- ・ 当初は要介護1～2の利用者が中心でしたが、近年は医療機関からの紹介増加に伴い、要介護4～5など介護度が上昇傾向にあります。
- ・ 医療依存度の高い利用者が増加しており、難病指定患者4名（進行性核上性麻痺1名、パーキンソン病2名、ALS1名）、精神疾患1名、その他医療行為（喀痰吸引など）が必要な方が4名利用しています。現状、吸引は看護師が対応しています。

職員体制と強み

- ・ **常勤スタッフ構成**
- ・ 看護師：5名
- ・ 准看護師：2名
- ・ 介護福祉士：6名
- ・ 作業療法士（OT）：5名（うち4名は介護登録）
- ・ **事業所の強み**
- ・ 介護登録をしている作業療法士が多く在籍し、「生活の中でのリハビリ的視点」を取り入れた介護を提供できます。

- 新卒のOTは1年間介護に専念させ、2026年4月よりOTとしての専門能力向上を図る方針です。

医療・他機関連携

- **主要連携医療機関:** マナビヤ在宅クリニックをはじめ、複数の医療機関と連携しています。
- **歯科連携:** 清武おとなこども歯科が毎週金曜日に関わっています。
- **薬局連携:** セラピス調剤薬局が中心となって関わっています。
- **嚥下機能評価:** 増田病院と連携し、必要に応じてVF（嚥下造影）検査を実施。言語聴覚士との連携により、検査立ち会いも行っています。食形態が改善するケース（2年間胃ろうだった方がゼリー摂取可能に）も増えています。
- **リハビリ連携:** 週1回、デイサービスに来る言語聴覚士による評価も実施しています。
- **栄養管理:** 管理栄養士（ニュートリションリンク）が月2回程度介入し、詳細な栄養評価を実施。利用者の状態改善に有効ですが、主治医やケアマネジャーへの理解促進が課題です。
- **連携の基本方針:** 状態変化時の情報共有、多職種連携による重症化予防、急変時の適切な医療機関への連携体制を確保します。

事故発生状況（2025年4月以降）と対策

- **発生状況:** 転倒が17件と半数以上を占め、次いでベッドからのずり落ちが多くなっています。居室での発生が70%で、時間帯は早朝（2時～6時）と夜間（18時～23時）に集中。重篤な事故として骨折が2件（大腿骨頸部骨折、肋骨骨折）発生しました。
- **主な要因:** トイレ動作、乗降時の不注意、認知症に伴う行動などが挙げられます。
- **今後の対策:**
- **夜間体制の強化:** 事故が多発する早朝（3時～7時）に勤務可能な人員を増強します。
- **転倒予防:** 作業療法士による評価、薬剤師・主治医との薬剤調整、居室環境の再評価を行います。
- **見守りカメラの活用:** カメラで利用者の起床を検知し、転倒後の状況把握や受診時の情報共有に役立てます。

今後の課題と展望

- **定期巡回サービスの運営方針:**
- **外部利用:** 地域のニーズを把握した上で開始予定。主なサービスは排泄介助、吸引、緊急時対応などを想定。
- **運営形態:** 「一体型」か「連携型」かを協議中。
- **訪問エリア:** 主に木花、清武地区を想定し、田野地区は要相談としています。
- **人材確保と育成:**
- 医療ニーズ増加に対応するため、看護師の増員を計画中です。将来的に外部サービスを拡大する際は、介護福祉士が喀痰吸引を行えるよう研修を実施し、体制を強化する予定です。
- **服薬管理と誤薬防止:**
- 入所直後の誤薬事例が1件報告されたことを受け、投薬は日勤帯の看護師が担当し、口腔内確認を徹底します。
- 薬局との連携を強化し、QRコードを活用した誤薬防止システムの導入も検討します。
- **不審者対応:** 不審者侵入時は直接対応せず、火災報知器を作動させセコムが駆けつける体制を確認しました。

令和8年度（2026年度）の行事予定

母体の専門学校との連携を活かし、地域資源を活用した世代間交流を促進します。

- 専門学校の地引網への参加
- ファッションショーへの参加（緊急時の訪問看護体制）
- 専門学校の授業参加、マルシェやキッチンカーイベントの開催

その他

- 2026年6月の診療報酬改定に伴い、処遇改善が進む一方で利用者負担が増加する見込みであり、訪問系サービスでは書類作成の増加も課題として挙げられました。

次回開催予定

- 回目の会議は、2026年10月頃開催される予定です。